

2025年度入試 出題趣旨

A 日程入試【国語（現代の国語、言語文化〈近代以降の文章〉）】

◆全体的な出題趣旨

本学での教育を受けるための基礎学力を有しているかどうかを判定するために、国語総合（近代以降の文章）における学習の到達度を重視する。

具体的には、同分野における専門的知識・技能とその活用力、すなわち、理論的、専門的な知識と技術の修得、および、それを活用できる能力を問うとともに、同分野における問題発見・解決力、すなわち、修得した知識と技術を生かし、問題を発見し、解決していく能力を問う。

そのため、説明的文章、文学的文章、語彙の三つの領域から、それぞれを大問一、二、三として出題した。

◆大問別の出題趣旨

- 一．論理的文章の出題により、文章の構成や論理の展開を的確に把握する能力、および筆者の論旨や考え、特徴的な表現について読み取る能力等を問うた。
- 二．文学的文章の出題により、その全体的な読解力、すなわち小説の筋展開や表現を的確に把握する能力、および登場人物や舞台背景の心情や意味を読み取る能力、および独特の魅力を味わう能力等を問うた。
- 三．漢字、および慣用句等の語彙力のほか、日本近代文学の歴史、特に作家名とその代表作名に関する基本的な知識を問うた。

A 日程入試【外国語（英語コミュニケーションⅠ・Ⅱ、論理・表現Ⅰ）】

◆全体的な出題趣旨

この試験では、英語のコミュニケーション能力を中心に、基本的な文法知識や語彙力、さらに文脈に基づく応用力を総合的に評価することを目的としています。

試験は、会話や文章を通して、正確に状況を把握し、適切に応答する力を問う問題を含むとともに、文法や語彙の知識を実際の使用場面で活かせるかどうかを確認します。

また、長文読解においては、英文の趣旨を正しく理解し、内容に基づいた適切な解答を選択できる力も評価します。全体として、実際のコミュニケーション場面を想定し、英語を使って適切に意思疎通できる能力を多角的に測ることを目指しています。

◆大問別の出題趣旨

- I．英語のコミュニケーション能力・会話力を試す問題。形式は、会話の穴埋め、状況を正確に把握することが重要である。
- II．英語のコミュニケーション能力・会話力を試す問題。会話文を正しい順序に並べる問題。状況を正確に把握することが重要である。
- III．基礎的な文法力と文法知識の応用力を試す問題。文脈を設定してあるので、文法ばかりではなく、文脈から見ても、正しい解答を選ぶ。
- IV．正しい順序に英語の語句を並べる問題。前問と同じく文脈が設定されているので、注意すること。
- V．文法の大意を把握して、適当な語を、空所に補う。語彙力を試す。
- VI．長文読解。英文の内容の大意を把握する力を試す。英文の内容についての英語の質問に対する解答を選ぶ。